



Decoupage & Cartonnage

PAPER-PATCHED HARIKONAGE

TASSEL & CARTONNAGE

PAPER-PATCHED
HARIKONAGE



TASSEL & CARTONNAGE PASSAMANO.JP PUBLISHING

TEXT, ILLUSTRATION, PHOTOGRAPHY, DESIGN : TASSEL N COPYRIGHT © 2011-2015 PASSAMANO.JP ALL RIGHTS RESERVED.

自由がなにより大好き。 「はりこなあ〜じゅ」

“はりこなあ〜じゅ”は、
カルトンの上から、薄く透明感のある
薄葉紙を重ねて貼っていく「張り子」の技法と、
カルトンで箱に組み立てていく「カルトナーージュ」の技法を
組み合わせたものです。

身近にある雑貨や洋菓子の包装紙や、
ペーパーナブキン等を利用して装飾を楽
しむ技法です。

張り子の元にする基材は、カルトン（厚
紙）を用いて組み立てたり、既製の空
箱を再利用することもできます。その上
から薄葉紙を細かくちぎって、思い通り
に貼り重ねていくのです。透き通るよう
な薄葉紙は、乾燥するとカルトンと一体
になり、まるで木で作ったような質感に
なるのです。これが紙箱？・・・と思って
しまうほど、アンティークな雰囲気を持った
素朴な箱に仕上がります。

Contents

Step circle boxes 6

Pen stand tumbler 7

Sewing drawer box 8

Nest of boxes 9

Easy tray 10

Coronet box 12

Reuse tool box 16





Step circle boxes

フルーティーなフォルム

PAPER-PATCHED
HARIKONAGE

真っ赤に色づく木の実柄のランチペーパーを使って、積み上げ式のサークルボックスに敷き詰めたコラージュ。ラウンドエッジまで絵柄を回り込ませるのがポイント。大ききの違う箱を、三段のせて組み合わせるステップシルエットは、華やかに飾られるでしょう。ホワイトカルトンの生成品が引き立つ、フルーティーな仕立てです。使い道はもちろん自由です。



タンブラー型のカルトンに、プティ・フルールの香りをいっぱい重ね、形を活かした360度のシームレスな美しさが、眺められるパッチワーク。タンブラーのタップをブレイドでモールし、ブレイドと一体に作るタッセル・ヴァルには、スモークビーズをワンポイントであしらってタンブラー全体を引き締めるコーディネート。春の草花を先取りしたペンスタンド使いに。

Pen stand tumbler

プティ・フルールのタンブラー

PAPER-PATCHED
HARIKONAGE



Sewing drawer box

ドロワーの付いたブックボックス

PAPER-PATCHED
HARIKONAGE

海老茶色の単色プリントが美しい、花柄のジュイ風パッチワーク。シンプルなブックボックスを、二層式のドロワー構造に設計し、引き出しにタッセルを設えて、スネイルボールにタッセルのハンギングコードを逆さ使いでロックする独自の製法が特色。ドロワーのカバーロックやカルトンヒンジといった精密な作りと、内装には美しいペロア生地を仕立てた贅沢なソーイングボックスです。



包装紙をリユースし、ランダムなパッチワークで独特の模様を作りだしています。半透明の地に白プリントが特徴的な包装紙の使い方は、珍しいココア・カルトンで成形したものに映える素材使い。古典的な重箱の形に現代の素材をミックスし、新鮮なスタイルを作り出しています。内装は組手で仕切りを施し、のせ蓋を置いてタッセルで結び締めするのが粋。

Nest of boxes

ジャパントイストの重箱

PAPER-PATCHED
HARIKONAGE



Easy tray

和風に北欧スタイルトレー

ナチュラルストライプの、北欧ランチペーパーを用いてパッチワークすれば、ランダムな格子模様の、和風テイストが浮かび上がってきました。トレーフォームは口縁のカットが美しい、ギフト包装に使われた段ボール紙の空パッケージをリユース。薄もの成形のトレーは、下地処理に白ものの薄葉紙を下打ちし、表面処理と構造強度を保っています。心地よいトレーができました。



着飾らない作りかた。



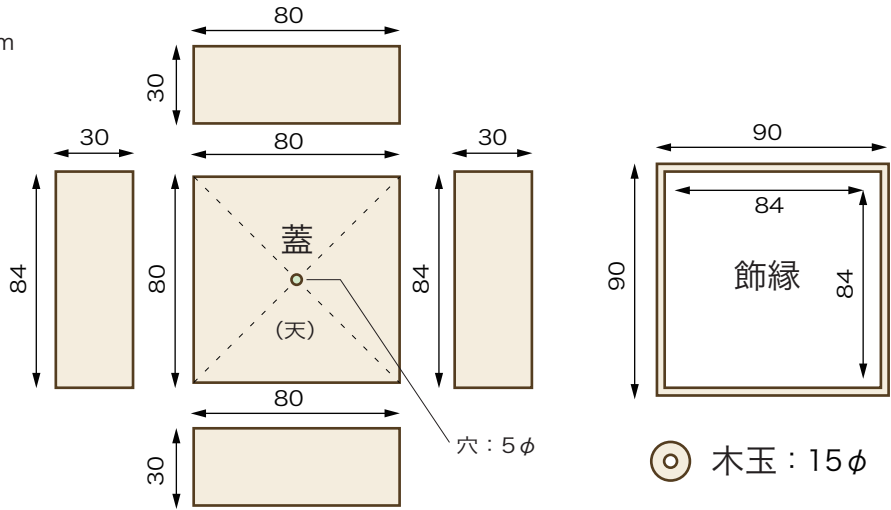
Coronet box

飾り冠のリッドをもった
コロネットボックスの
カルトンモデルと設計レシピ。



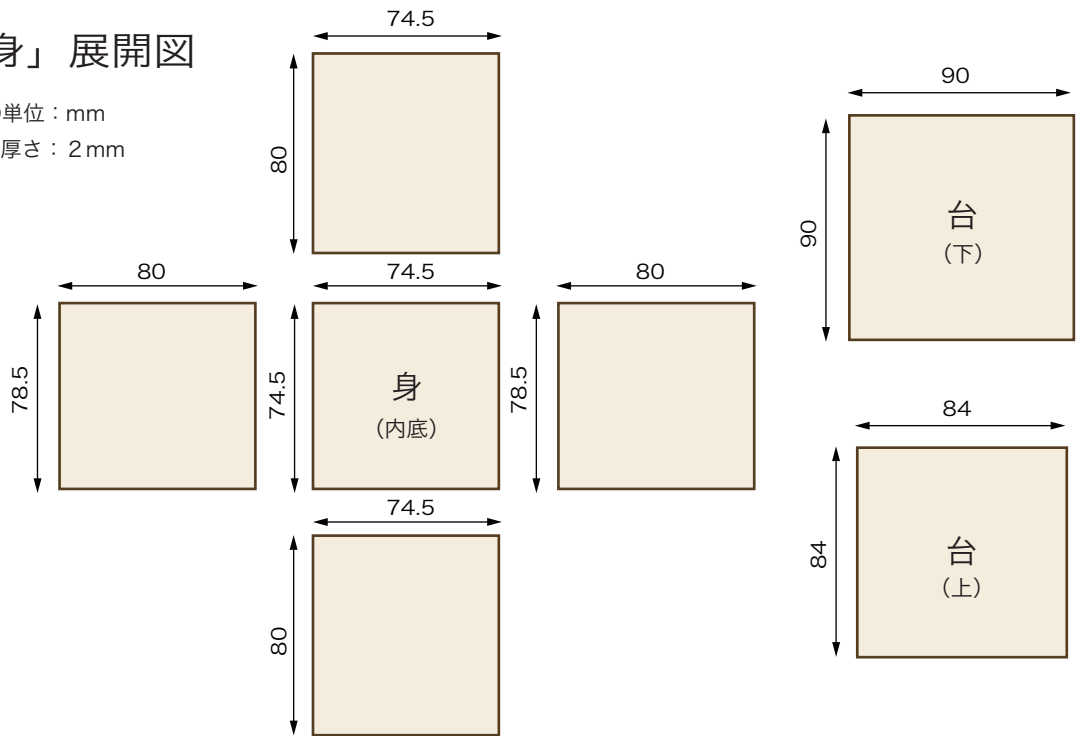
「蓋」展開図

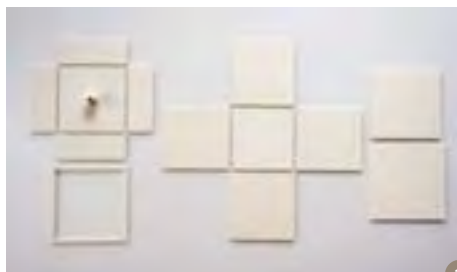
- 単
- 厚さ 2 mm



「身」展開図

- 単位 : mm
- 厚さ : 2 mm





カルトン取り

1 2



箸と木玉



箸を木玉に固定する

3 4



木玉の上部をカット



ポンチとハンマー

5 6



天蓋にノブを差し込む穴をあける



天蓋に差し込む軸をカット

7 8



蓋のパーツを全てカッティング



蓋の側面を貼り合わせる

9 10



飾縁をはめ込む



ノブをはめ込む

11 12



蓋の完成



身箱のパーツ取り

13 14



胴の側面を組立てる



土台縁を貼り合わせる

15 16



土台縁に胴を固定して身箱の完成





Reuse tool box

日常の中にある素材を眺めて
“これ、使えるかも？”
ちょっとエコな発想から始める
シンプルな楽しみ方。

土産もの羊羹の空箱を使ったツールボックス



用なく捨ててしまう空箱。
実はコレ、和菓子が入っていた折り箱です。
おしゃれなランチペーパーで、
生まれ変わるリユースな楽しみ方が
あるのです。



— イタリアン —

ランチペーパーをカルトナッジョ風にアレンジ!

クラシックな模様の美しいランチペーパーを活かして箱の形に合わせてトリムする方法です。メインの模様は、箱の表装に使い、ペーパー回りの装飾は側面に使います。

“なるだけリユース法!”

3枚で1つになったペーパーをはがすと、プリント地、裏写り地、生地に分かれます。外装はプリント地、内装に裏写り地を使い生地は刷毛ぬぐいに使います。無駄なく、を目指して。



使う道具は、接着剤・仕上げニス・ハサミ・刷毛

最適な接着剤と糊刷毛をチョイス

接着剤のポイントは、ベタつかないこと! ボンドが多すぎると乾燥後に引ついてしまうことが・・・そこで、「水性糊」に木工ボンドをチョイ混ぜです。箱の素材は薄いボール紙。強度と艶だしに、水性ウレタンニスがGOOD! デリケートなランチペーパーには、ナイロン製の筆で軽くタッチ。接着塗布からペーパーの伸ばしまで、優しい取り扱いができる刷毛が最適です。



模様のレイアウトを考えながら箱の下地作り

空箱のホッチキス針は取り除いておきましょう

使用する空箱は、片白ボールの0.5mm厚の箱。箱に、ホッチキス留めされていれば取り外して接着しなおします。貼り合わせるときに歪まないよう注意。また、被せ式の箱なので化粧後の身箱を合わせるアソビを十分確認しておきましょう。

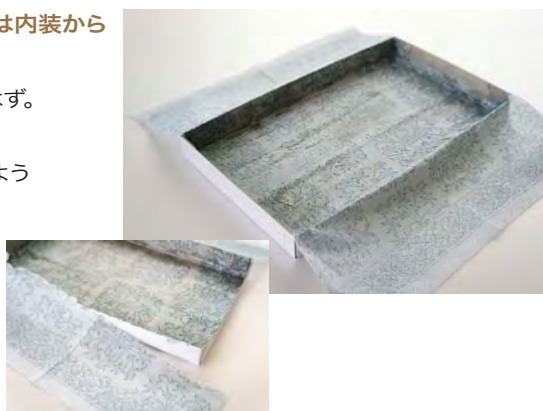


内装のトリミングは、中心から左右に伸ばして貼っていく

外装を濃いプリント地でくるむため、化粧は内装から裏写り地もいい味がでます。

これがグレー台紙とコーディネートされるはず。ペーパーの位置合わせを行って内装の中心から左右にかけて貼っていけるようあらかじめペーパーはカットしておきます。

接着は、まず底の中心に刷毛幅で1本だけ塗布して位置決めし左右に塗り広げていくのがコツ。余はちぎってカットし、残りは側面に使いましょう。



デリケートなペーパー、その貼り方とコツ!

基本的に「貼り」も「張り」も刷毛を使う!

予め箱にはペーパーがひっつくよう接着剤を下地に塗っておきます。その上に、ペーパーを被せ刷毛を使ってソフトに伸ばし定着させます。貼って伸ばしたら、さらに、ペーパーの上から接着剤をコーティングするように塗って張るのがコツ! 接着だけでは破れるため表面を保護するのです。



接着
保護



内装
完成

外装トリミングのレイアウト

模様の変えて、別の柄と組み合わせる

箱の表装には、プリント地の模様を

角度を変えてトリムします。

また側面には、ペーパー回りの模様を

ぐるりとラップするレイアウトです。

まず、表装の位置合わせは

片側だけを決めて全体のアタリをつけます。

張り方は、内装トリムと同じ方法です。

トリム後は、四方の余をちぎって

カットしておきます。



外装側面をシームレスに縁取って完成



ペーパー回りの美しい縁取りをつないでいく

柄合わせをしながら縁取りをつないでいきます。

側面の縁取りは、内装に巻き込むための

巻き代を必ずとっておきましょう。

巻き終われば、四隅に切り込みを少し入れ、

内側に一辺ごとに折り返し、

巻き込み幅が揃うように張ります。





Editor's notes

本書『HARIKONAGE』は、張り子の技法をカルトナーージュという視点で創作する試みを紹介したものです。古くから張り子は、縁起物のダルマや張子面、人形やおもちゃとして、作られてきた歴史ある伝統技法です。ヨーロッパにおいても、イタリアの美しいマーブル紙で紙製文具や箱を化粧張りしたカルトナッジョ（Il Cartonaggio）や、紙の原料をつぶして圧縮成形した基材に、直接絵付けをして小物や小箱を作る、フランスのパピエ・マシェ（papier-mâché）等の工法を思い浮かべます。

伝統的な技法を、現代の生活と結びつけて楽しむことを“デコレーション”と呼ぶのでしょうか。この思索を通じて、装飾性よりもカスタマイズする実用性が好まれるのではないかと感じました。素敵なものを作るのか、便利なものを作るのか、という選択肢の他に、現代に於いては、今すぐできて達成感の得られる技法になるかもしれません。身近な素材に関心を寄せて作る中に、エコとナチュラルな実感があればこそ、今新鮮に感じるスタイルの楽しみ方になるのではないかと思います。この試みを通じてカルトナーージュの楽しみ方が広がり、興味を引き出す機会となるよう願っています。

Tassel **N**



PAPER - PATCHED

Decoupage & Cartonnage

非売品

2011年04月01日 第一版公開
2012年02月05日 第二版公開
2013年01月04日 第三版公開
2015年11月21日 第四版公開

著者 Tassel N

掲載 Tassel&Cartonnage

発行 PASSAMANO.JP

<https://www.passamano.jp>

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について、著者、発行者の許諾を得ずに、無断で複写、複製することは禁じられています。

Copyright © 2011-2023 Passamano All rights reserved.

Published by PASSAMANO.JP

Original Japanese edited by Tassel N

First edition 2011.4.1



TASSEL & CARTONNAGE